

施策評価調書（基本目標別）

基本目標	2 「安全」な水の供給
施策の趣旨	<p><b>主要施策（４）～（５）</b></p> <p><b>主要施策（４） 安全な水づくり</b>                  安全な水道水をつくるには、水源である河川や湖沼などの水質状況を見極めて浄水処理を行う必要があります。                  お客様にいつでも安心して飲んでいただけるよう、川や湖沼などの水源の監視を行い、併せてその保全を働きかけるとともに、自然現象や事故などによる異常水質への対応の幅が広がる高度浄水処理システムの導入を進めます。                  また、常に安全な水道水をお客様にお届けするために、水質管理レベルの維持・向上に努めます。</p> <p><b>主要施策（５） おいしい水の供給</b>                  お客様に安全でおいしい水をお届けし、安心して利用していただけるよう、「第2次おいしい水づくり計画」に基づいて、おいしい水の供給を推進していきます。                  残留塩素濃度の低減化等のおいしい水づくりに向けた技術的な取組を実施するとともに、お客様に水道水の安全性やおいしさを理解していただくための体験型イベント等のキャンペーンや、おいしい水づくり推進懇話会等でお客様とのコミュニケーションを通じて、より安全でおいしい水づくりに取り組みます。</p>

評価結果の概要	<p>基本目標2においては、2つの主要施策の下に6の主な取組を位置付けております。各施策及び取組について、担当課の自己評価をもとに内部評価を行った結果、28年度については、</p> <p>「達成状況」に係る評価は、6つの取組を「a」評価（達成している）としました。</p> <p>「成果」に係る評価は、主要施策（４）については「a」評価（成果が出ている）、主要施策（５）については「b」評価（概ね成果が出ている）としました。</p>
---------	--

主要施策ごとの当年度の取組と内部評価結果	
(４) 安全な水づくり	「成果」 a
主な取組 水源の監視・保全 高度浄水処理の拡充 水質管理レベルの維持・向上	「達成状況」 a a a
(５) おいしい水の供給	「成果」 b
主な取組 おいしい水づくりの技術的な取組 安全でおいしい水キャンペーン お客様とのコミュニケーション	「達成状況」 a a a

<p>外部評価会議委員の評価</p>	<p>「達成状況、成果」についての内部評価の妥当性</p> <p>A：妥当である 3人 B：概ね妥当である 2人 C：不十分である 0人</p>	<p>「水道水のおいしさ」については、もっと高く評価してもよいと感じますが、現在の基準に沿った評価がなされており、「A：妥当である」と判断します。</p> <p>成果指標に改善の余地があると考えられるので、「B：概ね妥当である」と判断します。今後は、指標と目標値の水準について、ご検討いただきたいと思います。</p>
<p>外部評価会議委員の主な意見等及び水道局の回答</p>	<p>基本目標2の各施策の内部評価等に関して、評価委員から出された意見等及び水道局からの回答は以下のとおりです。</p> <p><b>主要施策(5) おいしい水の供給</b> <b>施策の成果</b></p> <p>成果指標「水道水のおいしさ」について、実績(49%)が目標(51%)を下回り、b評価とされているが、おいしさのような感覚的な評価は、調査する母集団の人数や属性に大きく依存するため、49%は目標達成と評価されてもよいレベルだと感じた。目標値の妥当性や、母集団の人数等について、説明があるとより良いと思う。</p> <p>(水道局回答)</p> <p>この施策については、主な取組の達成状況はすべてaでしたが、成果目標の達成度が96%であり、成果の評価の考え方における「成果目標の達成度が80%以上100%未満で、主な取組の達成状況がすべてb以上」に該当するため、b評価としました。また、評価の対象としたアンケートは、公募によるモニターから回答を得たものであり、ご指摘のとおり評価の概要説明で母集団の人数等を示すこととします。</p> <p>変動要因の多いインターネットアンケートの結果を成果指標とし、事業の進捗を評価することの妥当性については疑問がある。今後はアンケートの扱いについて議論を進め、指標の設定方法についてご検討いただきたい。</p> <p>(水道局回答)</p> <p>アンケートの回答は属性によって変わると思います。現状、モニターについては、市町村や性別等の基本的な属性の他に、住居形態や給水方式等の属性の情報も収集しておりますので、水道水のおいしさについて、アンケート結果とこれらの属性のクロス分析を行い、評価にフィードバックしていきたいと考えております。</p> <p>水源に問題を抱える中で、50%の人がおいしいと感じる水を作れていることをもっと評価してもよいのではないかと。</p>	